

高知県道路利用者会議・道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会 財務省及び国土交通省への合同提言活動

令和4年11月9日から10日にかけて、「高知県道路利用者会議（会長 楠瀬賢一）」と「道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会【通称：道全協こうち】（会長 池田洋光）」が、財務省及び国土交通省 に対して、四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化や防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源の確保などについて提言を行いました。

●提言項目

- 一、四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化
- 一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後においても、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと
- 一、高規格道路のミッシングリンクの解消、及び暫定二車線区間の四車線化や代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの構築
- 一、資材価格が高騰する中でも必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設することに加え、令和五年度道路関係予算総額の満額確保を図るとともに、補正予算を速やかに成立させること

●提言概要

●本県の道路整備状況（楠瀬会長）

- ・県内の道路整備においては、通常予算に加え、「5か年加速化対策」予算も活用し、高規格道路のミッシングリンクの解消など道路ネットワークの機能強化を推進中。
- ・本年度、宿毛内海道路と奈半利安芸道路の県東西2箇所が事業化され、本県の8の字着手率は96%となったが、整備率は6割に留まっており、まだまだ道半ば。

●予算配分額の推移等（池田会長）

- ・本県の道路事業は「3か年緊急対策」及び「5か年加速化対策」により一定の予算が確保され、整備を推進。
- ・整備スピードを緩めることなく、国土強靱化の取り組みを着実に進めるために「5か年加速化対策」予算の確保と対策期間完了後も予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むことが不可欠。
- ・中土佐町の国道56号では、本年7月の台風4号の影響により法面崩壊が発生。現道が寸断される事態となったが、並行する四国横断自動車道を利用することで早期に地域間交通が確保され、ダブルネットワークの重要性を再認識した。

●四国8の字ネットワークの整備促進【安全・安心】（横山副会長）

- ・本県東部地域では、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワークが構築されていないため、ひとたび事故が起きると渋滞が発生し、緊急車両は対向車線の走行を余儀なくされている。
- ・四国8の字ネットワークは東部地域の救急搬送を支える「命の道」。ミッシングリンクの早期解消に向け、未事業化区間の早期事業化と事業中区間の早期完成をお願いする。

●四国8の字ネットワークの整備促進【産業振興】（中平副会長）

- ・これまでの四国8の字ネットワークの延伸により、宿毛市から車の移動で6時間以内に到達出来る範囲が拡大。
- ・輸送時間の短縮により、「土佐の清水さば」の提供店舗や「生姜真鯛」の出荷数が増加。
- ・8の字の延伸は定時性が向上することに加え、出荷準備に必要な時間も確保できることから、出荷数の増加にもつながる。

●国道33号の整備促進【観光振興】（小田副会長）

- ・国道33号沿線では、各地で誘客に向けた取り組みを展開しており、佐川町内の主要観光施設では入込客数が増加。
- ・来年には「牧野富太郎博士」をモデルにした朝の連続テレビ小説の放送を控えており、出身地の佐川町では新たな道の駅の整備が進んでいる。
- ・地域の取り組みを後押しする道路整備に必要な予算の確保をよろしく願います。

高知県道路利用者会議・道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会 財務省及び国土交通省への合同提言活動

●財務省 主計局 坂本主計官への提言 ※11月9日（水）



左から、道全協こうち横山副会長(安芸市長)、
高知県道路利用者会議楠瀬会長(高知県川作・タジ協議会会長)、
坂本主計官、道全協こうち池田会長(中土佐町長)、
道全協こうち中平副会長(四万十市長)、道全協こうち小田副会長(越知町長)

財務省 坂本主計官のご発言

- 安定的に予算配分をしていくことが重要。
- 人口が減少し、財源全体が厳しいが、道路整備の重要性は認識している。
- 限られた財源をどのように活用するか、国土交通省とよく相談していく。

●国土交通省 宇野大臣官房長への提言 ※11月10日（木）



左から、道全協こうち中平副会長(四万十市長)、
高知県道路利用者会議楠瀬会長(高知県川作・タジ協議会会長)、
宇野大臣官房長、道全協こうち池田会長(中土佐町長)、
道全協こうち小田副会長(越知町長)

国土交通省 宇野大臣官房長のご発言

- 8日に補正予算案が閣議決定され、5か年加速化対策は3年連続で1兆円規模を確保。
- 3年で7割を超える進捗となっており、ポスト5か年を考えていく必要がある。
- 皆さまのご支援をいただき、ミッシングリンクの解消・ダブルネットワークの構築、暫定2車線区間の4車線化を進めていく。

●国土交通省 丹羽道路局長への提言 ※11月10日（木）



左から、道全協こうち小田副会長(越知町長)、
高知県道路利用者会議楠瀬会長(高知県川作・タジ協議会会長)、
丹羽道路局長、道全協こうち池田会長(中土佐町長)、
道全協こうち中平副会長(四万十市長)

国土交通省 丹羽道路局長のご発言

- 防衛費の拡大など予算確保が厳しい中、来年度予算が財務省とどのような決着になるか不明。
- そのような中でも、四国の道路整備に対し、しっかりと取り組んでいく。

●国土交通省 久保田官房審議官（道路局担当）への提言 ※11月10日（木）



左から、道全協こうち小田副会長(越知町長)、
道全協こうち中平副会長(四万十市長)、
高知県道路利用者会議楠瀬会長(高知県川作・タジ協議会会長)、
久保田官房審議官、道全協こうち池田会長(中土佐町長)

国土交通省 久保田官房審議官のご発言

- 高知は8の字整備が四国で1番進んでいない。
- 切迫度が高まる南海トラフ地震に備える上でも8の字整備が重要。
- 5か年加速化の次の枠組み作りにもしっかりと取り組む。

地方創生を実現するためには、地方の道路整備は不可欠です。
私達は、整備された道路を活用しストック効果をより拡大することで、経済の活性化につなげます。